

ミリオンダラーホール of 地表面温度測定 (2012年3月) *

Thermal images around the Million dollar hall of Ioto volcano (March, 2012)

防災科学技術研究所**

National Research Institute for Earth Science and Disaster Prevention

2012年3月27日、硫黄島のミリオンダラーホールにおいて熱赤外線カメラを用いた地表面温度測定をおこなった。ミリオンダラーホールでは、本年2月上旬、3月7日、4月5～6日頃とほぼ1か月おきにごく小規模な水蒸気爆発が発生している。本撮影は4月5～6日頃のごく小規模な水蒸気爆発の直前であったが、噴出口Aでは顕著な高温分布は観測されなかった。なお、撮影には、神奈川県温泉地学研究所所有の赤外熱映像観測装置 NEC Avio社製 TH9100 (測定レンジ; 0.0～250.0℃)を用いた。

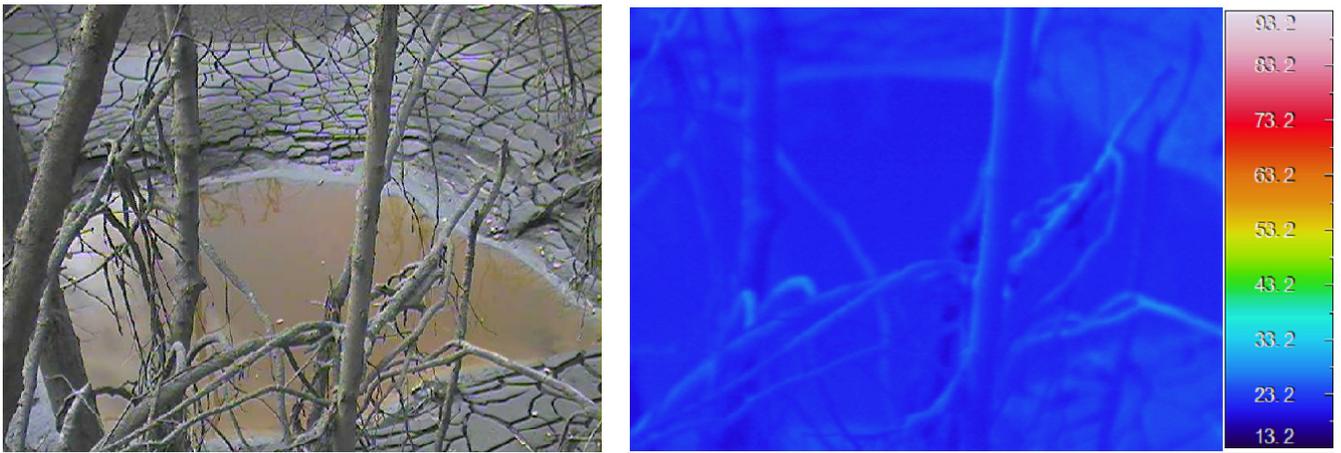
第1図は、気象庁硫黄島火山調査観測報告に記載されている“泥噴出口A”に当たる地表面温度測定結果である。噴出口には水が溜まっていたが、高温領域は確認されなかった。

第2図は、気象庁が温度ロガー観測をおこなっている2地点地表面温度測定結果である。高温領域が確認された。

* 2012年8月7日受付

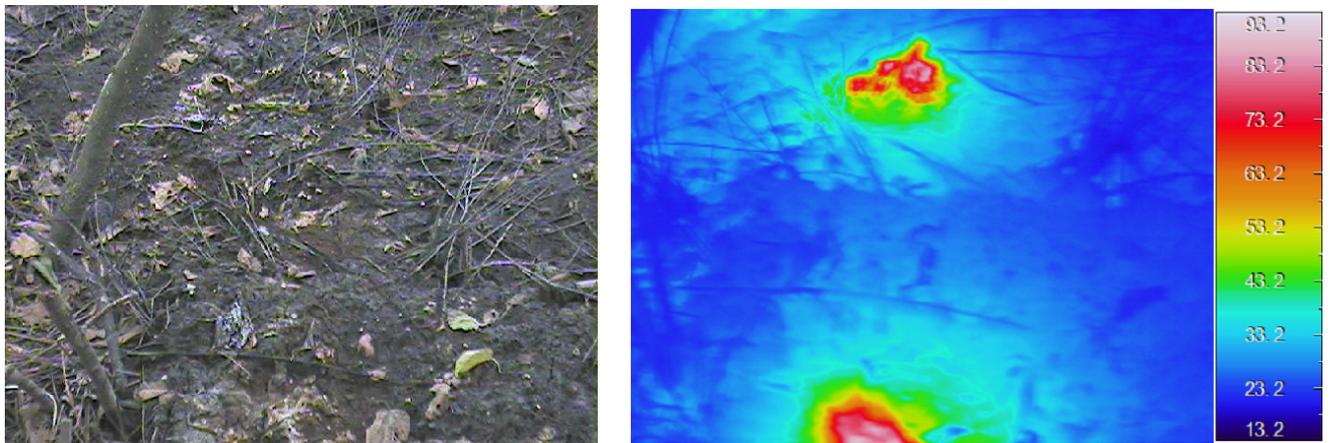
** 棚田俊收

Toshikazu Tanada



第1図 泥噴出口Aの表面状況(2012年3月27日09時38分頃撮影(気温23.7℃) 左;可視 右;熱画像)

Fig. 1 The picture(left) and thermal image(right) of mud spouting point A around the Million dollar hall (March 27, 2012)



第2図 気象庁温度ロガー設置場所付近の表面状況 (2012年3月27日09時36分頃撮影(気温23.7℃)) (左)可視画像、(右)熱赤外画像

Fig. 1 The picture(left) and thermal image(right) of JMA thermal measurement points around the Million dollar hall (March 27, 2012)